

## 2.4 ダイオキシン類の発生源

ダイオキシン類は研究目的で合成される以外は、何かの目的に使用するために合成されたものでなく廃棄物などの焼却や金属精錬、たばこの煙、自動車排ガスなどによって非意図的に発生した副生成物や PCB や農薬などの不純物として存在しています。

ダイオキシン類の環境中での挙動はよく分かっていませんが大気中の粒子に付着したダイオキシン類は、地上に降下して土壌や水を汚染することが知られています。環境中ではほとんど生分解されず主に光反応で分解するといわれています。分解されなかったダイオキシン類は河川、湖沼、海へと流されて沈積します。ダイオキシン類は脂溶性が高いため、プランクトン、小魚、大魚、鳥類等の食物連鎖で生物濃縮され、生物に蓄積されていくと考えられています。

また、DL-PCBs は PCB 製品に含まれていることから、環境中などから検出される DL-PCBs は過去に生産された PCB による汚染と考えられてきましたが、最近になってフライアッシュや廃棄物焼却なども汚染源となっている可能性が指摘されています。